

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援 わかば西神戸		公表日 2025年2月28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	パーティションなどを使用し空間分け活動や集中しやすい環境設定を行っている	・聴覚過敏なお子様に対する空間がなく、パーティションでは対応が間に合わない場合もあるため、利用者側にイヤマフなどの協力を仰ぐ必要が生まれる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	適正な職員の配置を行っている	パニック時などの対応に職員1名入る際に残りの利用者への対応が薄くなる場合は、職員声を掛け合い状況の安定を優先すること
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		使用する玩具も視覚的に分かりやすく行い、日々の導線なども一等を使用し自発的に動けるよう視覚支援を行っています	物が多い面、視覚情報も多く遮るなどの工夫も必要であること
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃・消毒は、徹底しております活動に合わせた、空間の活用を意識しております。	活動部屋を狭く見られないよう空間活用を工夫します
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	個別の部屋を設けておらず、パーティションで区切っている状態です	状況に応じて必要であれば、パーティション以外に空間を作り出す工夫が必要
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		職員の困りごとがある場合は、すぐに相談出来る環境であることを意識している	全ての職員が目標設定・振り返りを同じ目線で出来るように深めていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	評価内容は事前に見るように行う事で、どのような視点で評価されるのか周知しているが、内容の知らない職員もいた。	職員全員が周知できるように徹底する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		意見や要望等相談できる環境(会議・面談)は実施しております。	職員のモチベーションの維持や、気持ちを整うことができるように職員フォローも定期的に行います
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在まで実施しておりません	機会があれば検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間計画を立て法人のオリジナルに偏らないように外部講師より、職員のブラッシュアップ研修を実施しております	関係期間の方とも一緒に研修出来る機会があれば尚職員同士磨きがかかるのでは?と期待します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		職員への周知、ホームページにも記載済みです	ホームページも閲覧しやすく改善しました。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		職員会議を毎月行い、モニタリングの実施、状況の把握に努めております	当日欠席した職員へも速やかに情報の共有が出来るように行う
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員会議を毎月行い、モニタリングの実施、状況の把握に努めております	当日欠席した職員へも速やかに情報の共有が出来るように行う
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画の見直しが必要であれば、職員の中で議題として会議を行うようにする	全ての保護者の方にご理解頂ける内容となるように努力します
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		保護者に聞き取りしやすい項目でのアセスメントの実施	全ての保護者の方にご理解頂ける内容となるように努力します
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		分かりやすく設定するように努めております	全ての保護者の方にご理解頂ける内容となるように努力します
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員会議のもと、プログラム担当を決めて実施しております。担当に任せたままになることがないようフォローを行っています	引き続き行う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		利用者が楽しく取り組めるように計画しています	引き続き行う

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		集団活動・個別活動は状況に応じて対応出来るように設けております	引き続き行う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	送迎前には情報の共有を実施。職員の情報共有（業務日誌）のツールにて共有理解に努めております	引き続き行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		1日の振り返りは反省・改善点など行っております。	退勤時間によって参加出来ない職員は次回の出動日には分かるように情報の共有に努めます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		連絡帳・利用者の様子を入力するツールを使用。	振り返り確認が出来るように見直しを行う
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		職員会議を毎月行い、モニタリングの実施、状況の把握に努めております	当日欠席した職員へも速やかに情報の共有が出来るように行う
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者や直接支援をする職員を同席させ、関係機関との会議に参加出来る余にしております。	引き続き行う
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		全ての機関と繋がっているわけではありませんが、利用者にとって必要な機関は連携が取れるように率先して整えるように努めています	引き続き行う
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		送迎時に併用園さんへの日々の聞き取りや電話ではありますが定期的に担任の先生や園長先生から情報共有は行っております	利用者に関わる全ての方からの聞き取りを行う事に努めていきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	進学先に保護者からの要望があれば、利用者の状況報告や引継書等の作成を行っております	主に児発管が行っているため現場職員で内容を見たこともない職員もいたため内容の確認を行います
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		管理者通して質問や事業所間交流の場を設けて頂いてます 過去にはのばら学園さんへブラッシュアップ研修として関わり方を学びに直接支援を体験させて頂きました。	不定期ではあるため定期的開催し開催していきたいと思えます
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		併用利用の園様にご協力を仰ぎ、園への訪問や園児との交流に努めています	園のとの交流を様々な園と行いたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者への1日の様子の報告は送迎時に都度行い、必要であれば写真や動画を使用して分かりやすく報告できるようにしております	引き続き継続して行う。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	全ての方への提供が難しく、一部の方の参加となりがちではありますが、勉強会の実施は行っております。	ペアレントトレーニングの実施が出来るように職員のスキル向上と計画を立てます	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に詳しく説明しております	引き続き継続して行う。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		利用者の気持ちやご家族様の意思などの聞き取りを行い要望に添うことが出来るように面談を行っております	引き続き継続して行う。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		本案が完成しましたら、説明の実施とサインを頂いております	引き続き継続して行う。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時や連絡帳・LINEでの相談がある場合は速やかに対応出来るように努めております	引き続き継続して行う。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		毎月ではありませんが、2~3ヶ月ごとに事業所単独・法人内のご家族様に向けたイベントを計画・実施しております。	引き続き継続して行う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談は随時行っております。対応出来る内容につきまして速やかに対応に努めます。	全ての保護者の方にご理解頂ける内容となるように努力します
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		お便り・通信・SNS等活用し事業所での取り組みや除法の発信には強化しております	個人情報等細心の注意を払い引き続き行います
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		職員一同契約時・退職時に個人情報の管理につきましては契約を交わしております	引き続き行う
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		送迎時や連絡帳・LINEでの相談がある場合は速やかに対応出来るように努めております	出来る限り高騰だけでなく文字で残せるように行います
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	法人でのイベントの際に地域の皆様もご参加頂けるイベントは行っておりますが、事業所単独ではご家族向けが多く地域の方へは行っていません。	事業所単独でも交流が持てる場の提供を行う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルの理解は職員努めておりますが、様々な想定は出来ておりません	出来ることから取り組みます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	避難訓練の実施は出来ておりますが、救出訓練は未実施	救出訓練議題にあげ訓練計画をたてます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		事前のアセスメントによる利用者把握をおこない職員目の着く場所に掲示しております	引き続き行う
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		対象のお子様に関しては保護者を通して、医師の指示書の確認、アレルギー発症の際の対応の仕方なども含めて連携先の訪問看護師より研修を行っております	全職員が対応出来るよう努めます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		危機管理を常時意識して支援することを研修や日中支援でも視野を広げ声かけは必須で対応しております	引き続き継続して行う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		マニュアルに沿って対応しております。	全ての保護者の方にご理解頂ける内容となるように努力します
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットを感じた職員が記録を残せるように度の職員も記録を残しそれに対してどのように対策するかを職員全員で考える場を設けております	引き続き継続して行う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人内で職員一斉研修を行っております	引き続き継続して行う。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		対象者はおりませんが、やむを得ず対応する場合は、利用者・保護者の同意の元支援計画に沿って対応します	引き続き継続して行う。	